

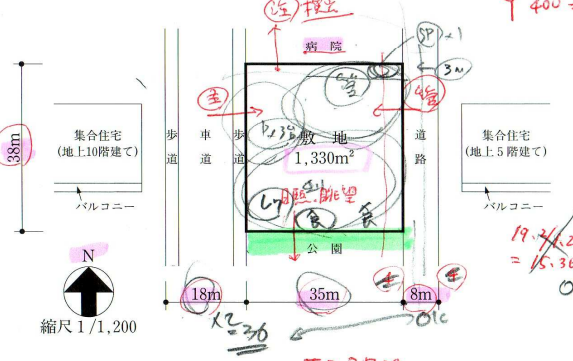
I. 設計条件

この課題は、大都市近郊の市街地において、病院に併設される通所リハビリテーション(以下「デイケア」という)のある介護老人保健施設を計画するものである。本施設は、高齢者等が居宅における生活への復帰を念頭において、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的とし、入所者84人、デイケア通所者15人を定員とする。また、入所者が明るく家庭的な雰囲気の中で共同生活ができるように配慮し、自然光を取り入れて明るく開放的な空間となるように計画する。

入所者 84人
通所者 15人 (定員)

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、第一種住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は100%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上5階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、3,400㎡以上、4,000㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

設置階	室名	特記事項	床面積	
基準階 (3~5階)	*基準階の要求室は、3~5階の各階にすべて計画する。			
	療養室A(4人室)	・各階に6室(3~5階に計18室)計画する。 ・室内に、寝台、洗面所、便所、ロッカーを設ける。	1室当たり 約140㎡	240
	療養室B(個室)	・各階に4室(3~5階に計12室)計画する。 ・室内に、寝台、洗面所、便所、ロッカーを設ける。 ・各階の入所者が利用し、食事以外の場合は談話等にも利用する。	1室当たり 約100㎡	80
	食堂	・明るく開放的な空間とする。 ・食事は、1階又は2階の厨房から運搬する。	約100㎡	
	サービスーション	・仮眠室及び職員用の休憩を設ける。 ・カウンターを設ける。	約100㎡	485
	浴室A(男女兼用)	・入所者が利用する。 ・一般浴室及び脱衣室を設ける。	約100㎡	
	談話室	・入所者同士や入所者とその家族等が利用する。 ・ソファ等を設ける。	30	
	汚物処理室		10	適宜
	リネン室		10	適宜
	機能訓練室	・入所者及びデイケア通所者が利用する。	約100㎡	
	食堂・テイルーム	・デイケア通所者が利用する。 ・明るく開放的な空間とする。	約100㎡	
	厨房	・入所者及びデイケア通所者の食堂の厨房を兼ねる。	適宜	50
浴室B(男女兼用)	・入所者及びデイケア通所者が利用する。 ・一般浴室、機械浴室及び脱衣室を設ける。	約100㎡		
1階又は2階	診察室		約25㎡	
	会議室	・20人程度が利用できるようにする。 ・職員の会議、介護教室、施設の見学会等に利用する。	40	
	相談室		20	
	洗濯室	・入所者の家族等が利用する。	10	適宜
1階	汚物処理室		10	適宜
	ボランティア控室	・ボランティアの休憩等に利用する。	20	
	職員控室	・男性用、女性用として、それぞれ各1室設ける。	30	
	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・下駄箱を設ける。	100	適宜
	レクリエーションルーム	・施設利用者が一堂に会し、カラオケ大会や誕生日会等の行事に利用する。 ・明るく開放的な空間とする。	約150㎡	320
	施設長室・接談室		30	
	事務室	・8人分の事務スペースを確保する。30~(40) ・受付カウンターを設ける。	30~(40)	適宜 (390)
適宜	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	50	60
	倉庫		10	
	便所		10	100

3. その他の施設等

- 駐車場は、地上に平面駐車とし、送迎用(福祉車両、1台当たり3.5m×6.0m)として2台分、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。また、職員等の駐車場・駐輪場については、病院の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 送迎用の福祉車両等が利用する車寄せを設ける。
- (1)及び(2)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 施設利用者部門と管理部門とを適切にゾーニングし、明快な動線計画とともに、避難等に配慮する。
 - 食堂、食堂・テイルーム、レクリエーションルーム等の共用部については、自然光を積極的に取り入れる計画とする。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 必要に応じて、耐力壁等を設け、耐震性に配慮する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。なお、空調設備は空冷ヒートポンプマルチ型エアコンとし、給水設備は受水槽方式とする。
 - 地震等の災害時においても、一定の機能を維持できるように配慮する。
 - エレベーターを適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 配置図 1/200	① 1階平面図兼配器図、2階平面図又は基準階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り)及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 居室等の床面積 ハ. 要求室の床面積 ニ. 建築物の出入口 ホ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。) ヘ. 通路、植栽等 ト. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に記入し、図示する。) チ. 設備シャフト(パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))の位置 リ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヌ. 直下階の屋根、ひきし等となる部分 断面図の切断位置
(2) 2階平面図 1/200	② 基準階平面図は3階とする。 ③ 基準階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 療養室A(4人室)の室名(A1~A2、A3、A4、A5、A6)と表示する。 ハ. 療養室B(個室)の室名(B1、B2、B3、B4)と表示する。 ニ. 代表的な療養室A(4人室)及び療養室B(個室)の室内プラン
(3) 基準階平面図 (3~5階) 1/200	④ 切断位置は、レクリエーションルームを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ⑤ 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ⑥ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ⑦ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 断面図 1/200	① 2階からの見下げ ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。
(5) 2階梁伏図 1/200	

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

地上1~5階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 駐車場及び車寄せの計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - レクリエーションルームの計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - 療養室A及びBの計画について、その位置とした理由及び動線計画(避難計画を含む)において工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - スラブ及び小梁の架け方について、工夫したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 空調設備、給排水衛生設備及び電気設備における光熱費の削減のための「設備方式・手法」及び「その具体的な削減効果」について四つ記述すること
 - 「受水槽及び給水ポンプ」及び「受変電設備」について、その設置場所を記入し、維持管理又は機器からの騒音・振動防止の観点から工夫したこと
 - 地震等の災害に対する設備計画について、「設備の損傷防止」、「停電」及び「断水」のうちから二つ選択し、対応策を記述すること(停電や断水は3日程度を想定する。)

(注意) この問題用紙については、試験終了まで試験室に在室した者に限り持ち帰りを認めず、中途退出者については、持ち帰りを禁止し、

530
505
585 × 3 = 1755
3700 / 2790 = 1.32
WP×2
HP×1
SP×1
4台
700
ZF 660
770 × 3 = (2310) 3670
72-2011 受水槽室 → 壁厚 2層
スラブ厚 2層
T=250